

事例番号:280128

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第六部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 5 日

5:45 破水

6:00 過ぎ 自宅トイレで何かの脱出感あり

6:50 入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 38 週 5 日

6:51 臍帯脱出を視認、ドップラ法で胎児心拍数 70-100 拍/分

6:52 大腿まで落ちる臍帯脱出を確認

7:13 臍帯脱出の診断で帝王切開により児娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 5 日

(2) 出生時体重:3062g

(3) 臍帯動脈血ガス分析値:pH 7.268、PCO<sub>2</sub> 42.7mmHg、PO<sub>2</sub> 45.5mmHg、  
HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 18.9mmol/L、BE -6.8mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 3 点、生後 10 分 4 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)、胸骨圧迫、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後 9 日 頭部 MRI で低酸素による重度の脳障害所見

6) 診療体制等に関する情報

(1) 診療区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 3 名、麻酔科医 3 名

看護スタッフ:助産師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、臍帯脱出による胎児低酸素・酸血症であると考え  
る。

(2) 臍帯脱出の原因は不明である。

(3) 臍帯脱出の発症時期は、妊娠 38 週 5 日、6 時過ぎ頃であると考え  
る。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 38 週 5 日 6 時 50 分の入院時に妊産婦の申し出に対し、6 時 51 分に臍  
帯脱出を視認したことは一般的である。

(2) 手術室に移動中、臍帯圧迫の解除を目的とした内診(児頭先進部の挙上)を  
行ったこと、帝王切開決定から 21 分で児を娩出したことは適確である。

(3) 小児科医師立ち会い分娩としたことは時間経過を考えれば適確である。

(4) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(人工呼吸、胸骨圧迫、気管挿管)は一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

本事例のように、自宅で起こった破水による臍帯脱出事例を集積し、対応および対策について検討することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。